

＜2025 年度 子ども教育学科 総合型選抜入学試験 事前レポート課題＞

こども家庭庁が示している「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめの 100 か月の育ちビジョン）」とは、どのようなものか、概要をまとめた上で①、あなたが重要だと思うことを、その理由を添えて記述②しなさい。また、その実現のために必要なことを具体的に説明③しなさい。

（2000 字程度）

●課題作成に関するステップと留意点●

＜はじめに＞

問題文の中に、課題レポートに含めることが必要な内容が示されているので、まずはどのような内容を求められているのかについて把握する。上記課題では、下線①②③の 3 点についての記述が求められていることがわかる。

下線①→「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」はどのようなものかについて記述する。

下線②→「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」の中で、あなたが重要だと思うことは何かを、その理由を添えて記述する。

下線③→②で挙げたことを実現するために、必要なことは何か具体的に説明する。

＜作成のステップと留意点＞

1. 「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」はどのようなものか、概要をまとめる。そのうえで、ビジョンが策定された背景にふれてもよい。概要をまとめず、背景のみが書かれている場合は点数とはならない。（目安字数 800～1000 字）

→「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」そのものを熟読し概要を説明する。

留意点 1：この部分は事実を述べる箇所なので自分の意見は入れないこと。

留意点 2：調べたことをただ羅列するのではなく、調べたことをまとめ、どの順番で記述すると読み手にうまく伝わるかを意識して文章を作成すること。

※HP の情報のみではなく、書籍や新聞記事などの媒体からの情報も入れることが望ましい。

※HP から情報を得る場合、信頼できるサイトであるかを確かめてから使用すること。

●解答サンプル

このビジョンでは、人生を幸せな状態（ウェルビーイング）で過ごすために、特に大切な時期として、胎児期から小学校 1 年生までの 100 か月と捉えている。この時期は、人格の基盤を築くはじめの重要な時期であり、誕生、入園・入学などで育ちに必要な環境が途切れてしまいがちな時期こそ接続が必要であり、「こどもの誕生前」から切れ目なく育ちを支えることをビジョンの一つとして掲げている。

また、こどもの権利と尊厳を守るビジョンでは、乳幼児は生まれながらに権利をもっている存在であり、生命や生活を保障されるだけでなく、思いや願いを尊重されなければならないことも記されている。

さらに、「安心と挑戦の循環」を通してこどものウェルビーイングを高めるというビジョンでは、アタッチメント（愛着）を通じた安心感を基に、外の世界に挑戦し、不安があれば身近な大人が寄り添い「安心」と「挑戦」の繰り返しのなかで、豊かな遊びと体験を重ねることが、こどもの育ちには重要である

ことを示している。

保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をするビジョンにおいては、保護者や養育者自身が「子どもとともに育っていく」ことが保障されるよう、すべての保護者や子どもが必要な支援につながるような社会を築き、支援・応援を受けることが当たり前の社会になることや、保護者や養育者の幸せな状態（ウェルビーイング）が基盤にあることも示され、子どもの育ちを支える環境や社会の厚みを増すビジョンも示されている。

ここで述べられているウェルビーイングとは、バイオサイコソーシャルな面での良い状態・幸せな状態を指し、身体的・精神的・社会的な状況を全体として捉え保障することが、すべての人のウェルビーイング向上につながると述べられている。

このように、子どもの誕生前から社会全体で子どもの育ちを支えるこども家庭庁のビジョンは、従来の誕生以降の子どもに焦点を当てた、子どもと保護者の身近な存在を中心にした子育て支援とは異なり、すべての人と共有し社会の考え方を変えていくきっかけをつくるものであり、今後どのような政策に取り組んでいくべきかを示す「羅針盤」として、国や自治体が進むべき方向を指し示している。（911文字）

2. 調べたことを踏まえて、「幼児期までの子どもの育ちに係る基本的なビジョン」の中で、あなたが重要だと思うこと（下線②）は何かを、その理由を添えて記述する。（目安文字数 500～600 字）

→重要だと思うことについて、その理由も含めて説明する。

留意点 1：重要だと思うことについてひとつ、もしくはいくつかのポイントを挙げること。

留意点 2：重要だと思う理由については、自分の経験からの説明でも良いが、社会の状況を挙げての説明も加えると、なお良い。

※留意点 2 について、例えば「幼児期までの子どもの育ちに係る基本的なビジョン」に掲げられている 5 つのビジョンの中で、「子どもの権利と尊厳を守る」を重要だと思うことに挙げた場合、その理由についての書き方は以下が考えられる。

<社会の状況を挙げた理由の説明例文>

「幼児期までの子どもの育ちに係る基本的なビジョン」に掲げられている 5 つのビジョンの中で私が重要だと思うのは、「子どもの権利と尊厳を守る」ことである。それは、現代社会においては、子どもの権利や尊厳が守られているとは言い難いと思うからである。こども家庭庁の報告によると、令和 4 年度中に、全国 232 か所の児童相談所が児童虐待相談として対応した件数は 214,843 件であり、対前年度比はプラス 3.5%で 7,183 件の増加である。また、社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会の第 18 次報告によると、令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月までの 1 年間に表面化した子どもの虐待死事例（心中による虐待は除く）は、47 例（49 人）で、うち 3 歳未満は 35 人と 7 割を超える状況である。このように、虐待相談数が年々増加していることや本ビジョンの対象とされている年齢の子ども達に虐待による死亡数の割合が高いことから、「生命や生活を保障されるだけでなく、思いや願いを尊重されなければならない」とする一見、当たり前とも思えるこのビジョンを今一度、社会全体で共有することは、とても重要なことだと考える。

3. 2 で記述した点を実現するために必要なことを（下線③）を記述する。（目安文字数：500～600 字）

→2 で挙げたことを実現するために必要なことについては、自分の考えを説明する。

留意点1：「実現するための必要なこと」と、2で論じた「重要だと思うこと」がつながるように記述すること。

留意点2：社会の状況や自分の体験などを考え、必要だと思うことを具体的に記述すること。

4. 参考文献を記す（課題である 2000 字の文字数には含めない）

①書籍の場合…「著者名」「著書名」「出版社名」「出版年」を記す。

例) 甲斐田万智子監修「きみがきみらしく生きるための子どもの権利」KADOKAWA 2023

②新聞記事の場合…「新聞名」「記事名」「掲載年月日」を記す。

例) 朝日新聞 「幸せに育っていける社会へ こども家庭庁が発足」2023 年 4 月 6 日

③Web ページの場合…「Web ページのタイトル」「発信元」「URL」「閲覧日」

例) 「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョンこども基本法」

こども家庭庁 https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo_sodachi/ 2024 年 6 月 7 日閲覧

※HP の発信元がわかるように記述すること。例) の場合、「こども家庭庁」がそれにあたる。